

2016年9月5日
平成28年度 認知症ケアセミナー

社会福祉法人 浴風会
認知症介護研究・研修東京センター
永田 久美子

認知症地域支援推進員の活動と 認知症の人にやさしいまちづくり



1

本日お伝えすること

1. 認知症地域支援推進員とは・・・ * 以下、推進員とする
2. 全国市区町村における認知症地域支援推進員の配置状況
3. 推進員の活動実態と課題
4. 全国各地の推進員の取組の実際
5. 各市区町村が、認知症の人にやさしいまちになるために
～認知症地域支援推進員とともに進めるまちづくり～

2

1. 認知症地域支援推進員とは



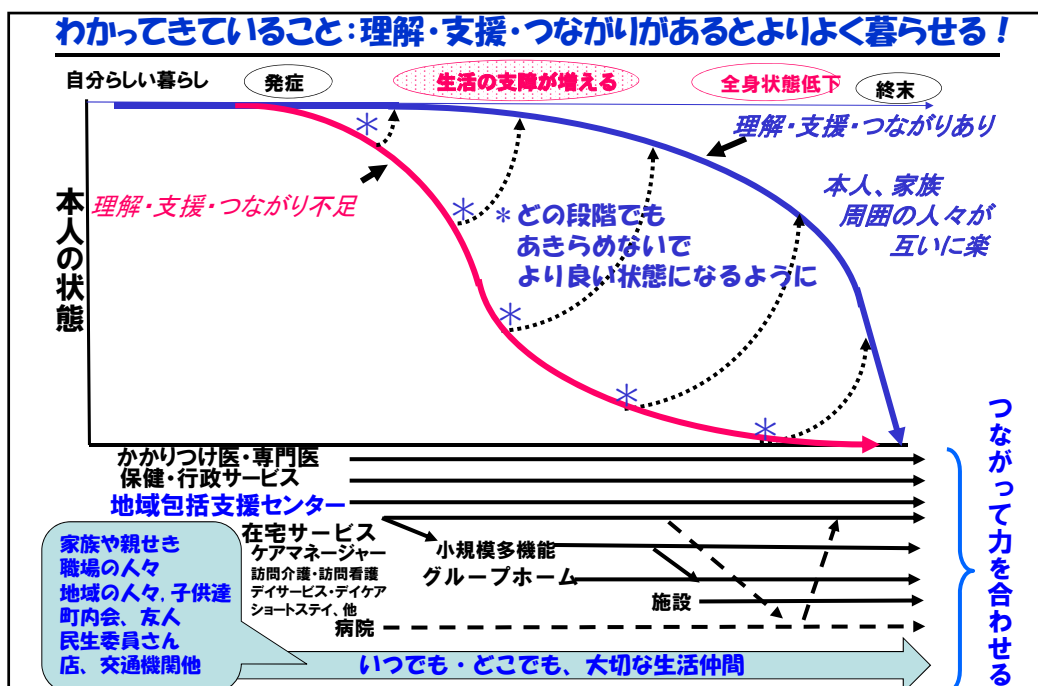
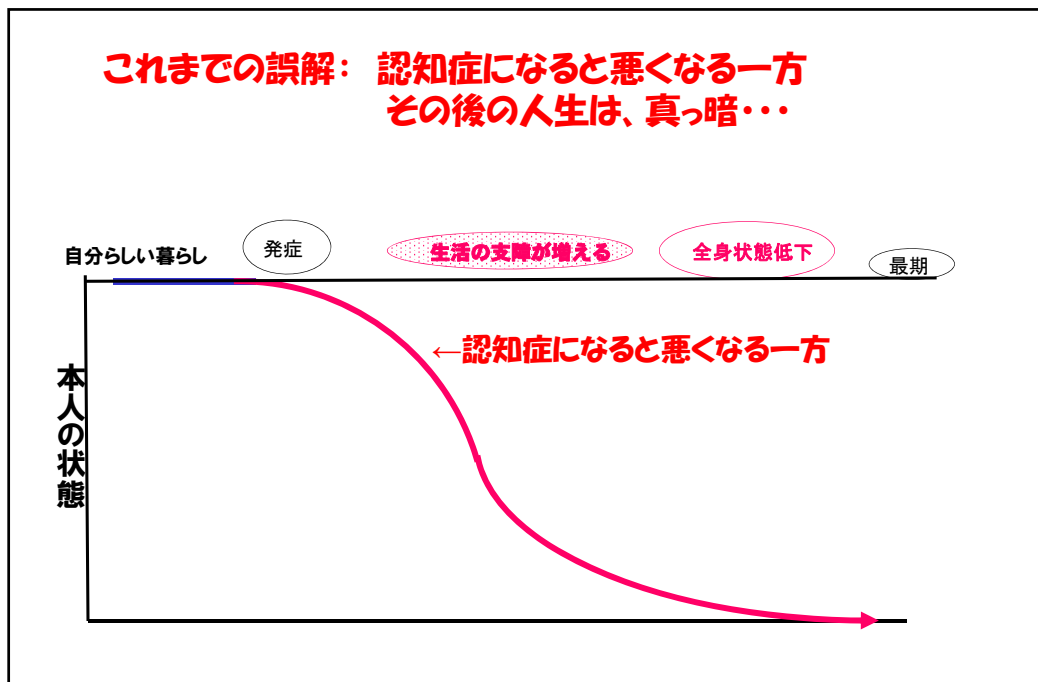
3

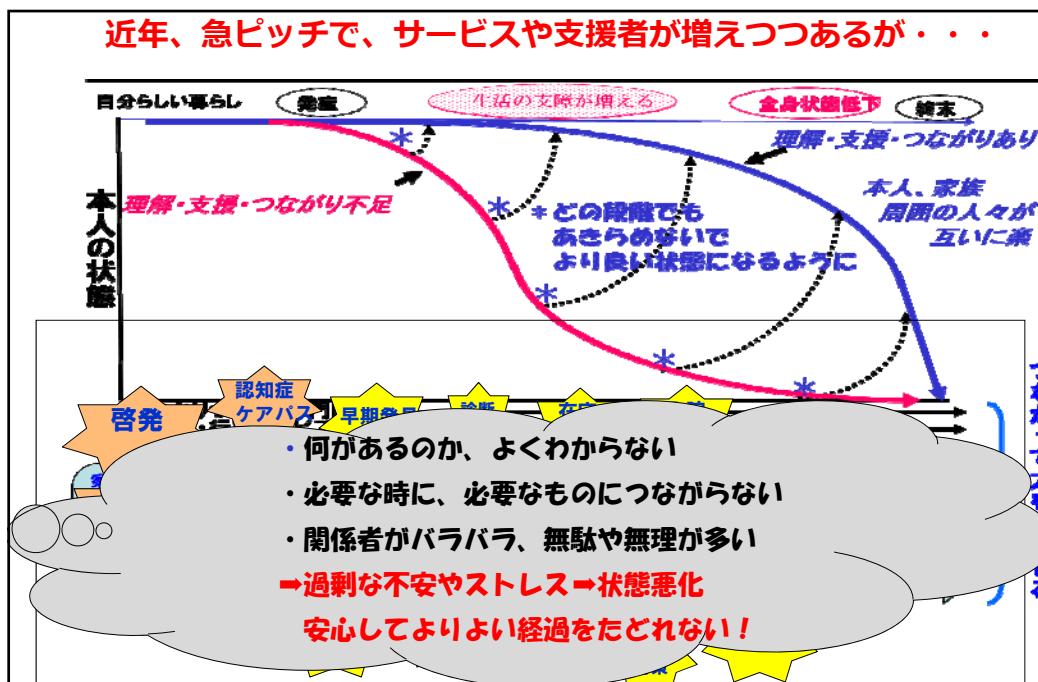
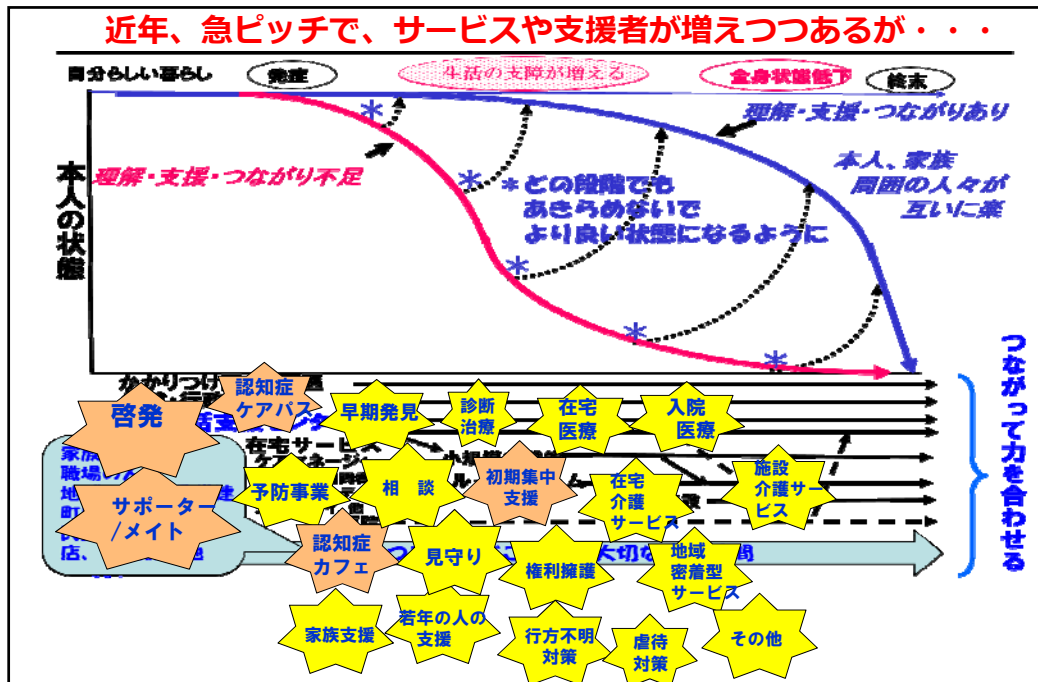
もし、自分が認知症になったら……

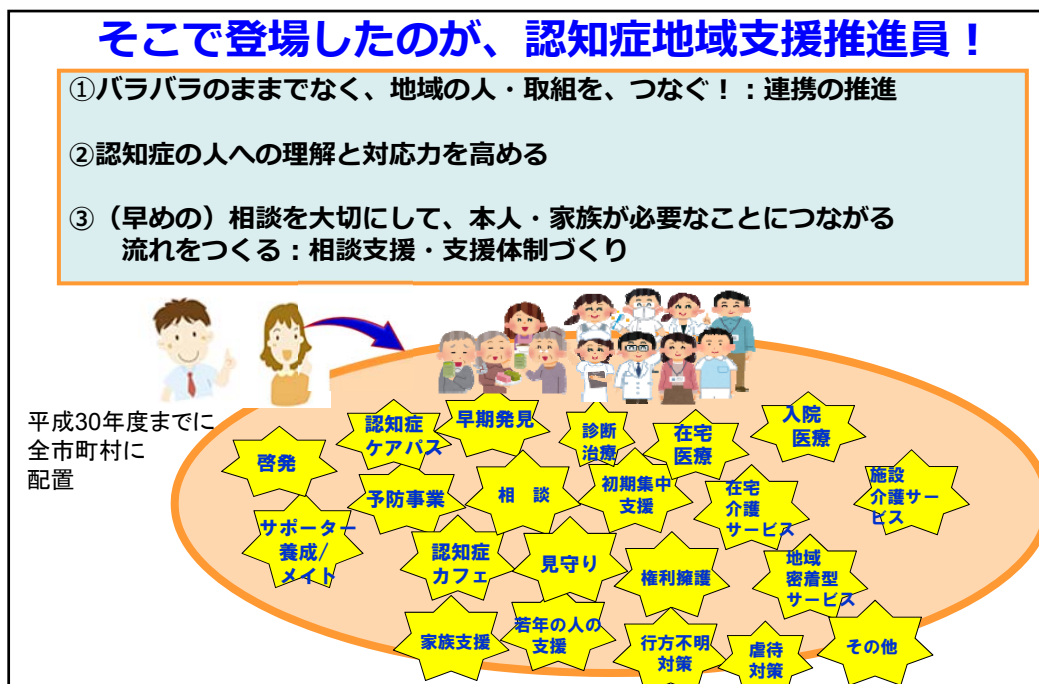
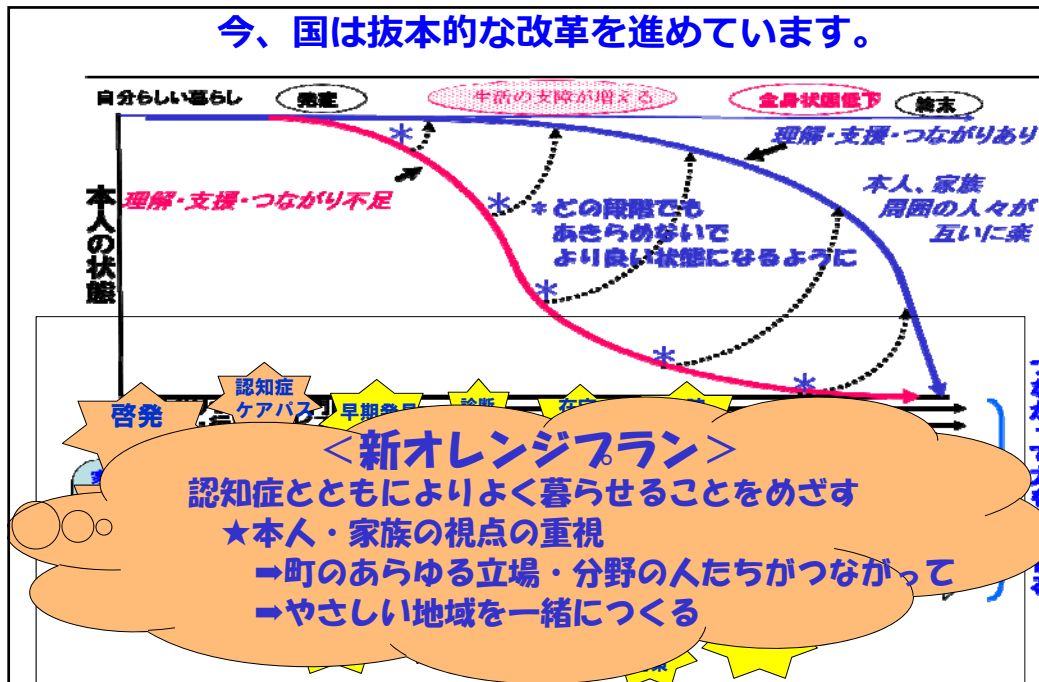
自分のまちで
自分は、どう暮らしていけるのだろうか？

4

**これまでの誤解： 認知症になると悪くなる一方
その後の人生は、真っ暗・・・**





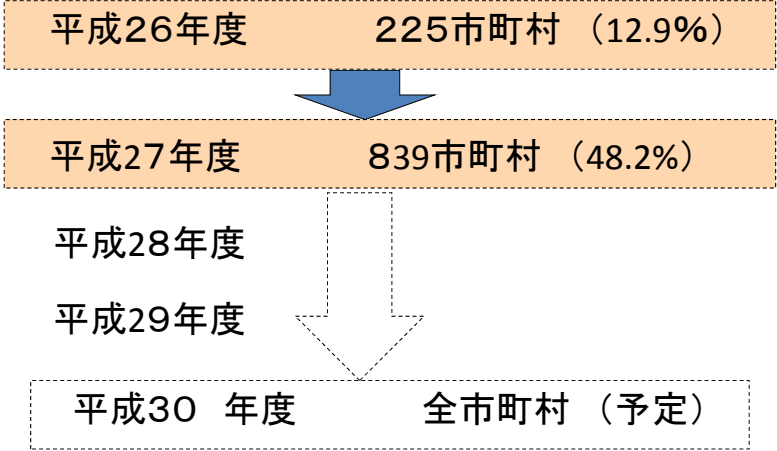


2. 全国市区町村における推進員の配置状況



11

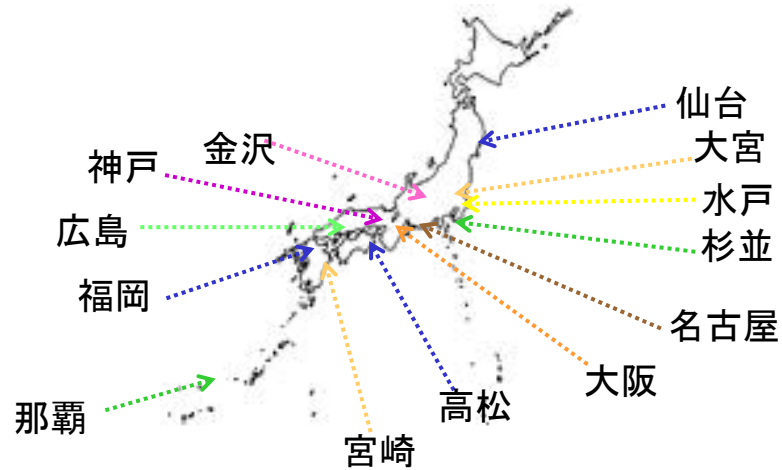
認知症地域支援推進員 配置している市町村の数



【参考情報】

今年度、認知症地域支援推進員研修を実施中。

全18回 2000名超の人が受講(東京センター主催)。



急ピッチで進む推進員の配置:量と同時に、質の確保をめざして。

3. 推進員の活動実態と課題



◆どこに、どんな人が推進員として配置されているのか？

◆活動の実態や課題は？ →よりよい活動を推進するには？

↓

平成27年度厚生労働省老健事業
「都道府県及び市区町村における認知症地域支援推進員の効果的な活動と地域資源ネットワーク構築の促進に関する調査研究」

➤質問紙調査(平成27年11月30日～平成28年1月22日)

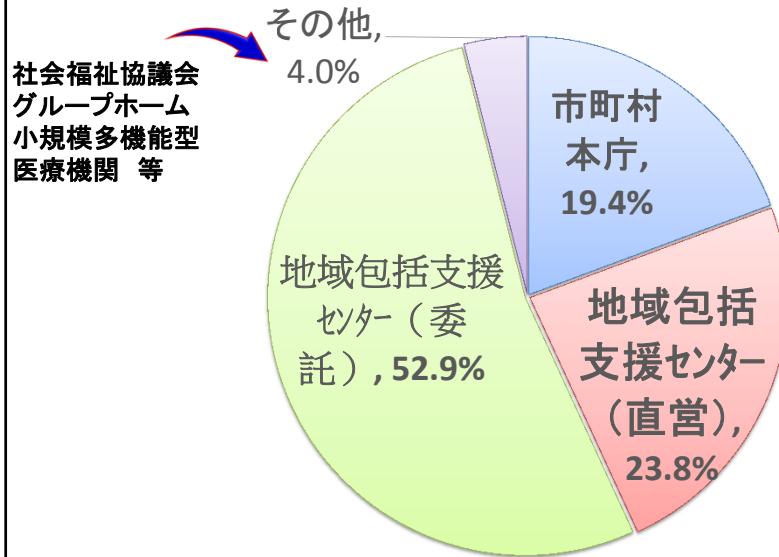
- ◆市区町村調査(郵送による悉皆調査)
配布数：1,741件
回収数：1,022件(回収率：58.7%)
- ◆推進員調査(市区町村から推進員に配布)
回収数：1,347件(回収率：58.6%)

15

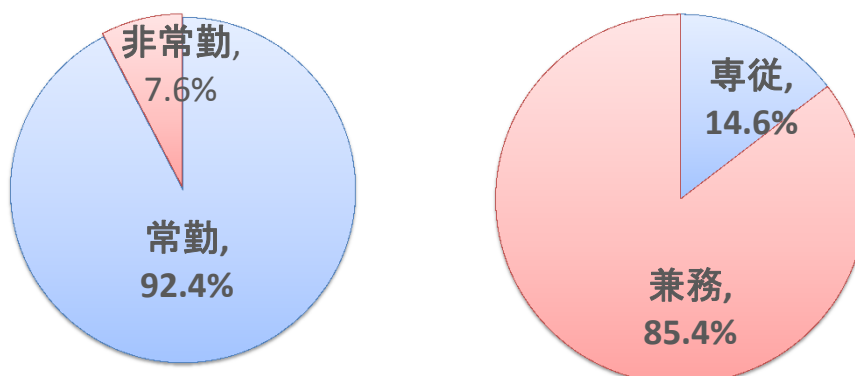
推進員調査			推進員として配置むされた年度(予定を含む)
配置年度	n	%	
平成21年度	4	0.3%	平成27年 10月段階 すでに配置 1200名
平成22年度	16	1.2%	
平成23年度	30	2.2%	
平成24年度	57	4.2%	
平成25年度	98	7.3%	
平成26年度	180	13.4%	
平成27年度	774	57.5%	
平成28年度	72	5.3%	
平成29年度	4	0.3%	
平成30年度	2	0.1%	

16

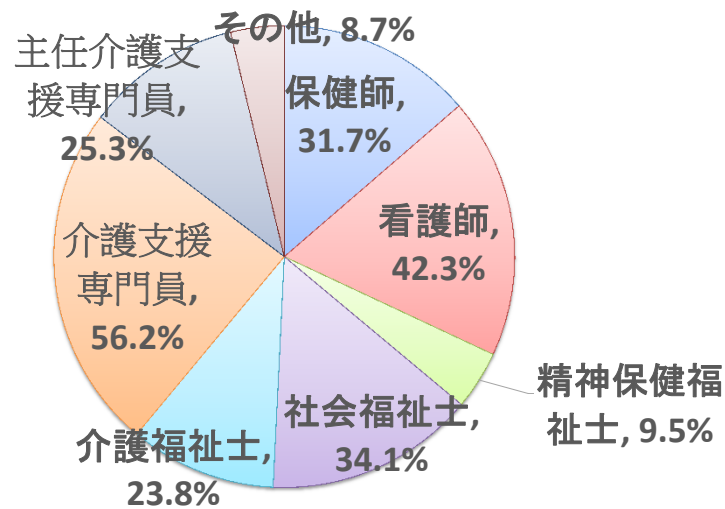
推進員の配置場所



勤務形態



推進員が有している資格



19

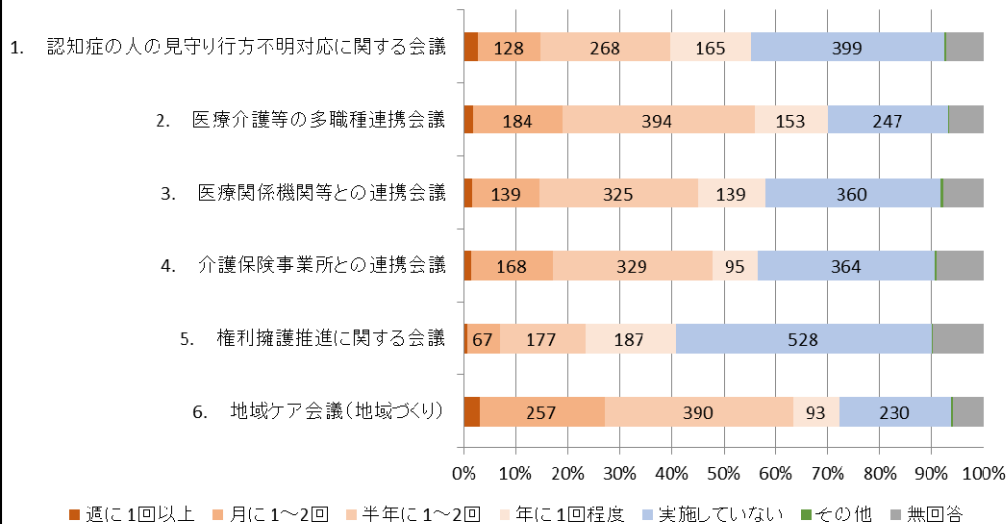
医療介護福祉分野での経験年数

平均 15.7年 (SD. 8. 9)

* 最大 47年 ~ 最小 0年

20

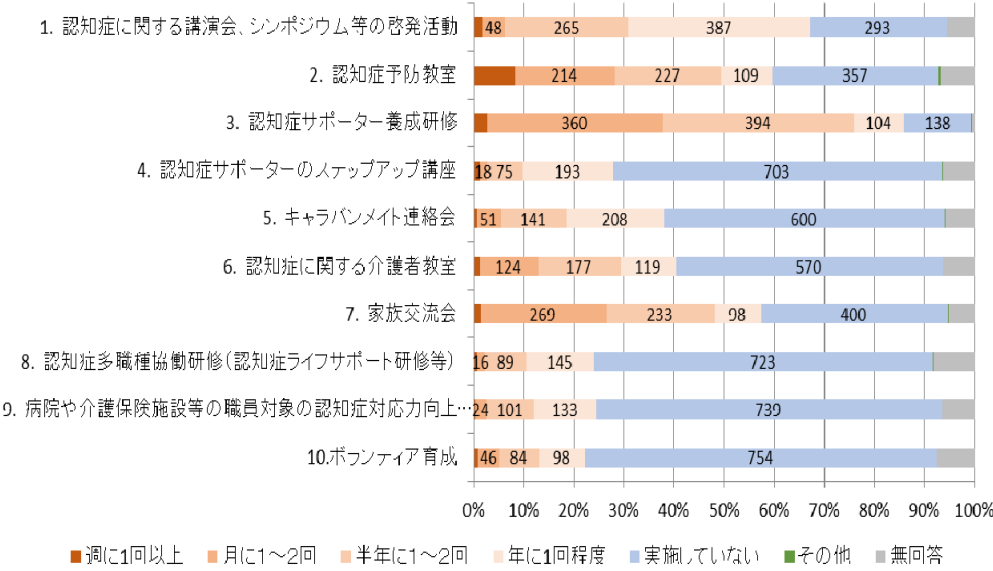
多様な関係者との連携・ネットワークづくりの活動



多様な人々との連携の実態



多様な人々の理解と対応力を高める活動



地域包括支援センターや介護支援専門員等から、 認知症に関する相談とその支援

* 認知症に関する相談を受けることがあるか

	回答数	%
はい	920	85.9
いいえ	121	11.3
無回答	30	2.8
合計	1,071	100.0%

* 相談の内容

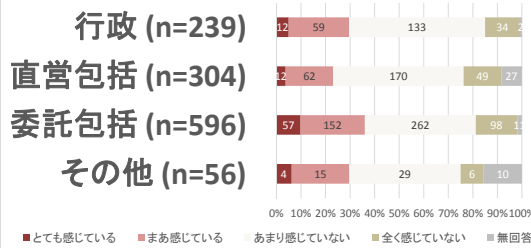
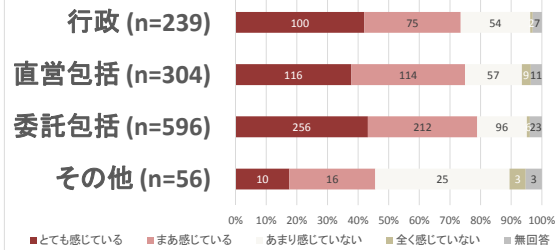
	回答数	%
ご本人への支援のあり方	814	76.0
御家族への支援のあり方	762	71.1
関係者との連携方法	529	49.4
社会資源の種類や利用方法	656	61.2
その他	65	6.0

推進員調査

所属先の違いによる課題として感じていること

n=1,200

「業務量が多く、推進員としての活動・取組に十分な時間が取れない」



「所属機関の推進員活動に対する理解・協力が得られにくい」

25

市区町村調査

推進員を配置したことで感じている効果

n=549
数字は%

医療・介護や関係者間のネットワーク・連携体制が構築された

認知症の人が利用・受診・入院等ができる事業所/病院/機関...

認知症に関する地域全体の相談体制が構築された

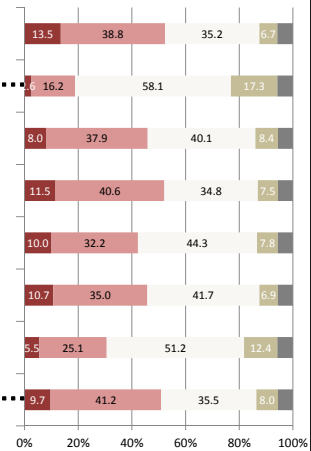
認知症に関する相談支援担当者のスキルが上がった

認知症に関する地域からの相談件数が増えた

認知症に関する早期対応が可能となった

認知症の人を支援するお店や企業等が増えた

認知症の人やその家族の声を反映した支援ができるように...

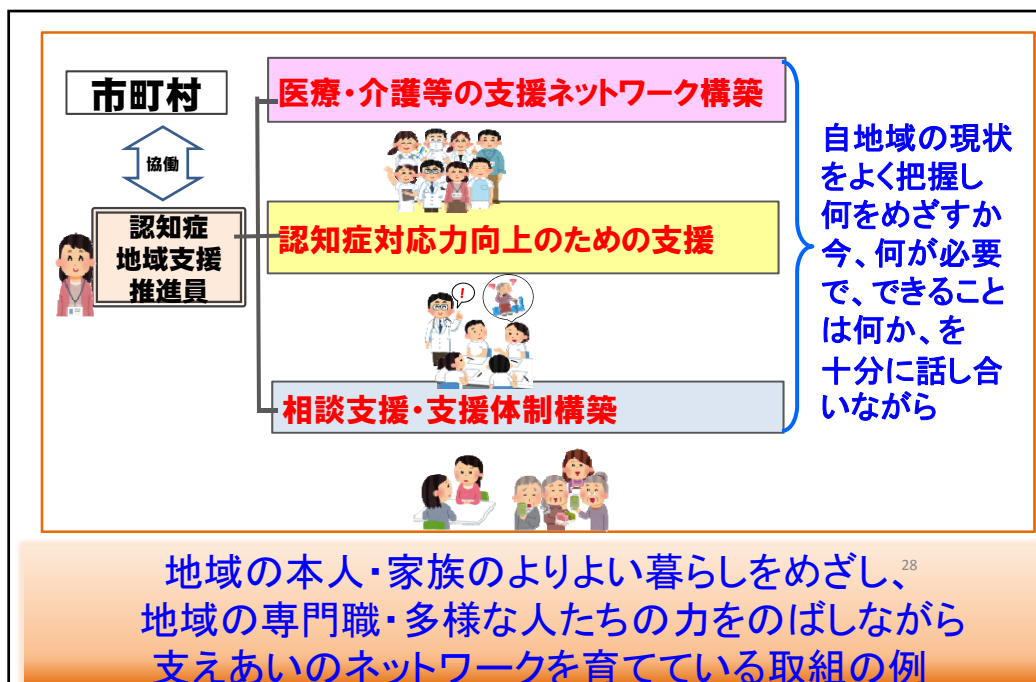


26

4. 全国各地の推進員の取組の実際



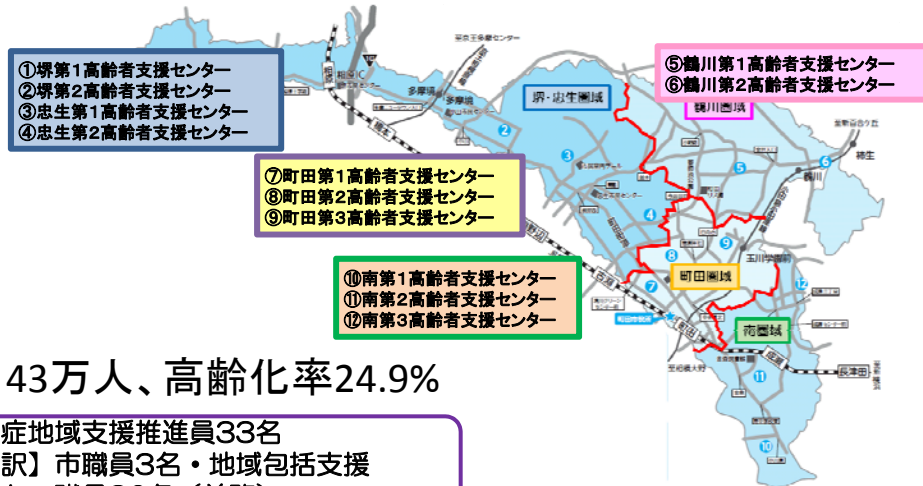
27



■東京都町田市の取組み

認知症の人がたどる道筋(ケアパス)を作り

本人と家族が希望を持てる相談や連携,地域支援を拡充中！



人口43万人、高齢化率24.9%

認知症地域支援推進員33名
 【内訳】市職員3名・地域包括支援
 センター職員30名（兼務）

町田市にある地域資源の掘り起こしと整理

情報を持ち寄り、話しあいを重ね、
 地域にあるものを活かし、つなぎ、

認知症の初期から最期まで

本人と家族が安心して希望をもって暮らしていけるための
 道筋(認知症ケアパス)を推進員と行政が作り上げる。



★「本人・家族の視点」を大事に、
やさしい用語で、前向きに進んでいけるように！



■宮城県大崎市の取組み 人口 13万人、高齢化率 27%
推進員が地域の介護職に呼びかけて
地域単位に推進チームを結成。



「認知症の人を地域で支えたい」
・願っている介護職・医療職が
地元にはいる！



身近な地域で、必要な取組みと
支援の実働をチームで実践。

・地元で推進役になる研修を
継続開催

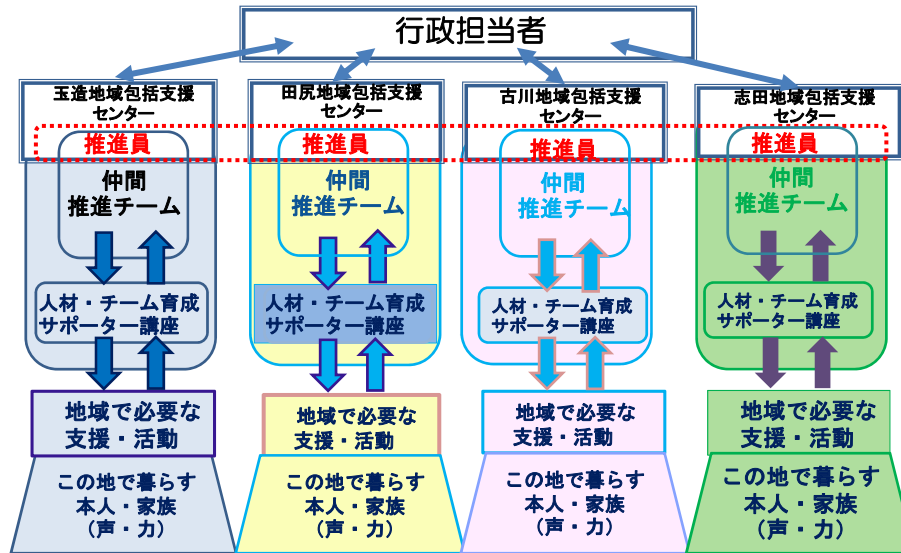
・身近で一緒に学び支えあう
・仲間を増やす⇒チームになる



認知症地域支援の推進人材・チーム育成を、地域単位で続ける

宮城県大崎市

本人の視点を大切にする仲間・推進チームが育つ



- 新潟県湯沢町の取組み 人口 8000人、高齢化率 34%
 推進員が、地域の専門職、住民が出会い、話しあう
 集まり(アクションミーティング)を継続的に開催。
 共に取組むテーマを決めて、自主的・継続的な
 取組みを発展させ、つながりと、生き生き暮らせる
 認知症の人を増やし続けている。





アクション農園: 誰もが参加可能、早めの相談、本人が元気に

安心して外出できる町づくりに発展、多職種・住民が自主参画



35

5. 各市区町村が、
 認知症の人にやさしいまちになるために
 ～認知症地域支援推進員とともに進めるまちづくり～
-



認知症地域支援推進員

すべての町の中で、活動を始めつつあります。

★出会い、話しあい、強味・弱みを補いあいながら。

★一緒に、

自地域にある力を、大切に見出しながら

★一人ひとり、本人と家族の思い・力・願いを大切にしながら



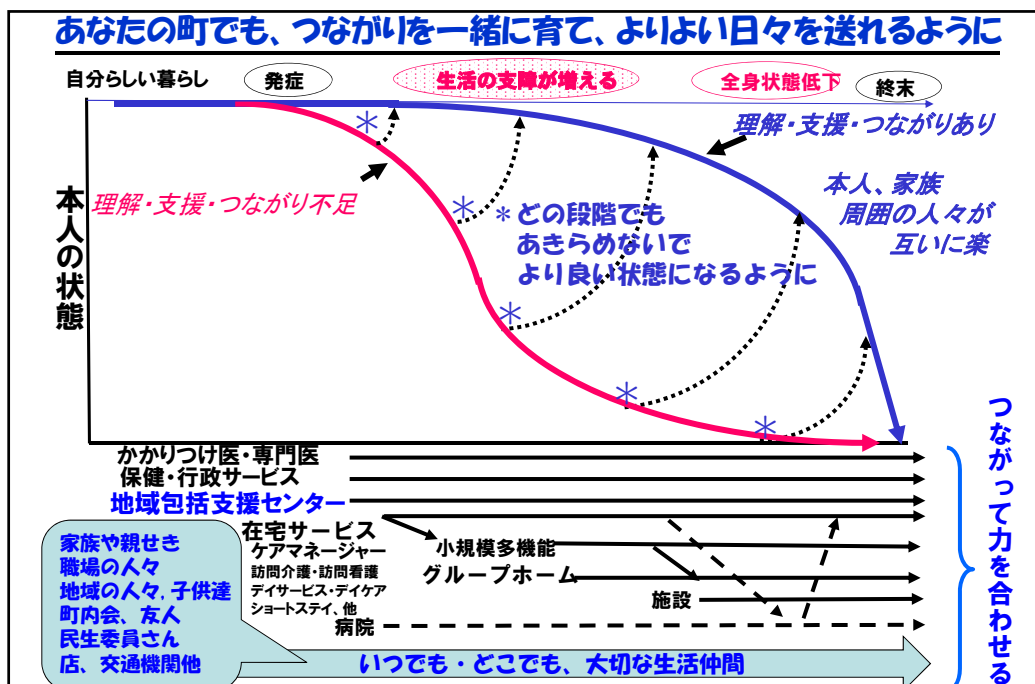
町のあらゆる人が、認知症の人と家族の見守り・支え手

→人から人へ活きた関係を紡いでいく



★領域を越えたつながりが、新たな解決力を生む：専門職・行政職も地域の一員

★本人、家族も、地域支援・体制づくりの大事なパートナーとして。



本日お伝えした活動事例の関連情報は、
[DCネット\(認知症介護情報ネットワーク\)](#)を
ご覧ください。

- * DCネット
 - 研修情報
 - 認知症地域支援推進員研修関連